

部 報 第 1 2 5 号

平成 2 1 年 3 月 2 5 日
(財)全国高体連卓球専門部

【平成 2 0 年度 (財)全国高体連卓球専門部第 2 回理事会議事録】

日 時：平成 2 1 年 3 月 2 5 日 (水) 1 6 : 0 0 ~
会 場：愛媛県武道館中会議室

あいさつ

(財)全国高等学校体育連盟卓球専門部長
愛媛県高等学校体育連盟卓球専門部長

後藤 泰之
仲田 政夫

協議事項

1 第 1 号議案 次年度事業計画案承認の件

(1) 平成 2 1 年度第 7 8 回全国高等学校総合体育大会 (兵庫大会)

西村委員長

・大会競技役員案について

・会場のグリーンアリーナ神戸は総合運動公園の一画にあり、駐車場も十分あるが、一般市民の方も利用するのでなるべく公共交通機関でお願いしたい。(体育館横に 8 5 0 台止められる駐車場がある。)

・「タイムテーブルについて 1 日目の終わりが女子学校対抗で終わり、2 日目の始まりがまた女子学校対抗で始まる。」ことについて検討した方がよいのでは これまで特に問題がなかったので従来通りで行う。

・今回は各都道府県へ大会要項の冊子や複写式の申込用紙は送付しない。近畿まほろば総体の Web ページから大会要項、申込用紙をダウンロードする。

・組合せ会議は、7 月 9 日 ~ 1 1 日の木・金・土で実施する。

承認

(2) 平成 2 1 年度第 3 7 回全国高等学校選抜卓球大会 (福島大会)

武田委員長

・開会式の時間を 3 月 2 6 日の 1 2 : 0 0 から 1 1 : 3 0 に訂正。

・「5 競技規定(1)平成 2 1 年 4 月 1 日現在の日本卓球ルールと以下の・・・」の下線部をルールが 9 月にも変更されることがあるから「現行の日本卓球ルール」と変更する。

(宮澤理事)

・この福島大会から 5 6 チーム参加になり、会期も限られているので、現在タイムテーブルの検討を行っている。(小坂理事長)

承認

(3) その他

丸田副理事長

・講習会、強化合宿、海外遠征等

4/10(金)~12(日)……日学連・高体連合同強化事業(ナショナルトレーニングセンター)

7/14(火)~21(火)……ベトナム・ゴールデンラケット大会(海外遠征事業)

8/24(月)~28(金)……日・韓・中高校生交流(韓国・木浦市)

10/27(火)~11/1(日)……日・韓ジュニア交流(愛知・千葉市)

11/14(土)~19(木)……日・韓ジュニア交流(韓国)

1/4(月)~7(木)……冬季合宿(千葉・千葉市)

1/5(火)~6(水)……指導者講習会(千葉・千葉市)

3/28(日)~31(火)……春季合宿(福島・郡山市)

承認

2 第 2 号議案 平成 2 1 年度収支予算案承認の件

安西副理事長

・平成 2 0 年度決算見込みについて

国際交流費はベトナム遠征に変わったため費用がかからなかった。年報編集費が少し値上がりして 1 冊 614 円となった。特別会計はこれで決定。今後は、全国選抜の経費や郵送料等も含め、この理事会で仮決算を行いたい。

・平成21年度予算案

日本卓球協会の登録人数を若干増やした。

事業費支出ので世界選手権視察費用として「委員会費各種」の科目で50万円、管理費支出の「通信運搬費」の科目で20万円増やした。通信運搬費の増加は全国高体連卓球専門部で4台携帯電話を契約したため。また、国際交流基金は本年度もベトナム遠征計画しているので20万円減額、80周年記念事業費を20万円増額した。全体としては、例年並みの予算案である。

承認

3 第3号議案 委員会・事務局提案承認の件

(1) 平成22年度全国高等学校総合体育大会(沖縄大会)参加定数について 坂部事務局長
承認

(2) 平成22年度全国高等学校選抜大会参加定数について 坂部事務局長
承認

(3) 2009年度世界選手権大会横浜大会視察研修案について 丸田副理事長
・平成21年5月1～2日、各都道府県強化担当者、全国高体連卓球専門部強化委員を中心に参加募集をし、実施。

承認

(4) 全国高体連卓球専門部80周年記念事業計画案について 関川副理事長
・記念事業として～を行う。

平成23年度第80回全国高等学校総合体育大会(青森大会)を記念大会として行う。
各ブロックから学校対抗男女各プラス1チーム計64チームで学校対抗戦を行う。

80周年記念式典(パーティー)を行う。60周年時を参考にして平成23年度インターハイ開催時に行う。

「高校卓球80周年誌」(仮称)を翌年の長野インターハイ時に発刊する。

承認 ただし、 について各ブロックのプラス1についての選出方法は継続審議とする。

(5) 同予算案について 関川副理事長
・記念誌の販売については、年報と同じように各都道府県に協力をお願いする。

承認

(6) 規約・規定の改正について 初田副理事長

・事業の実施方法の変更にもなう文言の訂正等を行った。

・技術委員会を強化委員会に名称変更を行った。

・従来の外国籍選手を次のように2通り(選手、留学生)に分けて定義する。

外国籍選手……「日本で生まれた者で引き続き3年以上日本に住所または居住を有する者。または、引き続き10年以上日本に居住を有する者(外国から移住した者)」

外国籍留学生……「一定期間査証(ビザ)を取得して、卒業を目的として日本の高校に在籍する者」

以上より、外国籍選手については、今までの規定の中にある永住権を有する者と同じ扱いをするものとする。

・全国選抜の個人戦のレプリカについて今までなかったが、今回地元のご厚意により用意をしていただいた。開会式進行上あった方がよいので、今後卓球専門部で用意をする。

承認

(7) 日本卓球リーグ「ゴールド(レンタル)制」について 小坂理事長

・日本卓球リーグ実業団連盟から「ゴールド(レンタル)制」の依頼があった。高校生が実業団リーグに出場できるというもので、手続き等に問題があり了解できないことを回答した。日本卓球協会の理事会・評議員会でもこの件については棚上げとなった。

(8) 強化委員会より 丸田副理事長
第1号議案(3)で一括提案済み

(9) 年報編集委員会より
承認

関川副理事長

報告事項

- 1 (財)全国高等学校体育連盟評議員会(3/3) 小坂理事長
 - ・今までインターハイにおいてコカ・コーラから協賛金1億8千万円をいただいていた。来年度から協賛金が9千万円に減額されるため、来年度のみ全国高体連からその分を補填する。平成22年度から補填がない分の対策として以下のことを検討している。
 - (1) 参加料を団体は23,000円から35,000円に、個人は2,500円から3,500円に値上げする。
 - (2) インターハイ専用のゼッケンに企業広告を入れる。
 - (3) 大会会場への入場を有料にする。
 - (4) 総合開会式の規模を縮小させる。
 - ・沖縄インターハイの輸送手段について、選択権を与えない方針で行う予定。競技前日に沖縄に入り、競技終了の翌日に帰る。競技役員、選手を同一ホテルに宿泊させる。
 - ・備品の管理をしっかり行う。内部留保金(繰越金)を増やさない。年間事業費の100%が上限。
 - ・インターハイのプログラム販売に関わる会計処理は全国高体連が一括管理する事を検討している。
 - ・神戸インターハイでのドーピング検査は延期、ドーピングについて啓発活動が必要。
 - 2 (財)日本卓球協会理事会・評議員会(3/7) 若尾副部長
 - 3 その他(正副理事長事務局会議2/20,21) 小坂理事長
- 連絡事項
- 1 平成20年度第36回全国選抜大会(愛媛大会)開催地実行委員会より 戸田委員長
 - 2 事務局より 坂部事務局長